

【既定】	防災施設整備	予算額	461,095 千円
------	--------	-----	------------

事業の目的・概要

震災救護所でストレスの少ない避難生活を送ることができるように、トイレ用収便袋や間仕切りセット等を追加配備するとともに、発災後 3 日間を乗り切るための区内食料備蓄の確保を完了させます。さらに、災害時の輸送拠点及び防災備蓄倉庫としての機能強化のため、引き続き井草防災拠点（杉並中継所跡地）の整備を進めます。

主な取組内容

➤ 備蓄品等の充実

令和 7 年度に食料備蓄 0.2 日分を確保することで累計 3 日分の備蓄を完了させるとともに、避難生活の長期化に備え震災救護所にトイレ用収便袋、エアーマット、間仕切りセット等の数量を拡充し、備蓄品の充実を図ります。また、備蓄品が多様化・増加していることから、災害備蓄品管理システムを導入し効率的な備蓄品管理を行います。



発災後 3 日間を乗り切るための備蓄食料

➤ 井草防災拠点の防災機能強化

首都直下地震等の発生に備え、災害対応力を高める観点から、杉並中継所跡地を地域内輸送拠点等の機能を備える防災拠点とするため、車路の外構工事等の整備を行います。また、ハンドリフト*やかご台車等の物品についても配備を進め、災害時における荷捌き作業を円滑に行うことのできる環境整備を図ります。



杉並中継所跡地（井草防災拠点）

* ハンドリフト…パレットに積んだ貨物を手動で移動させるための機材